

平成23年6月期(第20期) 決算ハイライト

平成23年8月2日
アクモス株式会社

目次	■ 第20期マネジメントサマリー……………	2	■ 第21期 基本方針……………	14
	■ 連結業績ハイライト……………	3	■ 第21期 業績予想……………	15
	■ 連結損益計算書……………	4	■ 配当政策・自己株式……………	16
	■ 連結 売上高の推移……………	5	■ 対処すべき課題……………	17
	■ 連結 営業利益の推移……………	6	■ 参考資料	
	■ 連結財政状態……………	7	▪ 企業理念・経営理念	
	■ 連結貸借対照表……………	8	▪ コーポレート・ガバナンスの状況	
	■ 連結キャッシュ・フロー計算書……………	9	▪ (info.)アクモスグループ事業	
	■ 連結キャッシュ・フローの推移……………	10	▪ (info.)アクモスグループ一覧	
	■ 連結業績 セグメント別増減……………	11	▪ 単体損益計算書	
	■ セグメント情報 ITソリューション事業……………	12	▪ 単体 売上高・営業利益の推移	
	■ セグメント情報 ITサービス事業……………	13	▪ 単体貸借対照表	

第20期マネジメントサマリー

営業、経常、当期、全ての利益項目において黒字化 3期ぶりに配当実施へ※

第20期（2011年6月期）キーワード ～営業力と技術力～

PSP（プロフェッショナル・サービス・プロバイダー）として進化

人財力の強化、アクモスブランド創出に向けた取り組みを継続

- ・当社及びグループ会社における資格取得の推進
- ・当社における厚生労働省認定「実践型人材養成システム訓練」制度を利用した新入社員教育の実施

収益性の向上

前期子会社4社を連結除外した影響があり、前期比で減収となるも、営業利益は226百万円増

営業、経常、当期、全ての利益項目において黒字化、3期ぶりに期末配当を実施予定※

- ・都内に点在していた当社及びグループ3社を1か所に集約させる等、グループ全体で経費削減を実施
- ・ TESTING事業にて、事業再構築として人件費及び不動産賃借料等の固定費削減を実施
- ・各事業セグメントともに売上が堅調に推移

※平成23年9月27日開催予定の第20回定時株主総会の決議を経て実施することになります。

グループ事業間連携の強化

- ・グループ営業会議を定例化
- ・ITソリューション事業内において業務協力体制を構築→ACMOSソーシングサービス(株)の黒字化に貢献

東日本大震災を受け、電力、交通、通信、医療等の社会インフラや、行政サービスを支えるシステムに関わる企業として、安心安全を届けるITサービス、ITソリューションの重要性を認識。

中期経営計画2年目となる第21期へ

連結業績ハイライト

売上高は当初予想を達成、営業利益は前年比226百万円増となり、修正予想を上回る結果に

- ・売上高は、前連結会計年度にて子会社4社を連結除外した影響(前年同期の4社売上高合計1,202百万円)があったものの、各事業セグメントともに堅調に推移し、当初予想の売上高達成
- ・営業利益は、グループ全体での経費適正化推進により大きく改善
 - ①赤字状態であった4社の連結除外
 - ②都内のグループ会社を1か所に集約したことによる事務効率向上
 - ③ITサービス事業分野 TESTING 事業における事業再構築計画の実施 など
- ・特別損失として、本社移転費用26百万円、東日本大震災による損失28百万円を計上

(単位：百万円)

	2010年6月期	2011年6月期	増減		2011年6月期 通期予想 (4/28修正)	予想比
	通期	通期				
売上高	3,911	3,320	△590	△15.1%	3,300	100.6%
ITソリューション	2,251	2,902	651	28.9%	—	—
ITサービス	606	484	△121	△20.1%	—	—
人材	1,065	—	—	—	—	—
営業利益	△105	121	226	—	100	121.0%
ITソリューション	33	152	119	360.4%	—	—
ITサービス	△29	56	86	—	—	—
人材	△17	—	—	—	—	—
経常利益	△66	125	191	—	100	125.3%
当期純利益	41	42	0	1.2%	30	141.5%

連結損益計算書（要約）

（単位：千円）

	2010年6月期	2011年6月期	増減	
	通期	通期		
売上高	3,911,394	3,320,847	△590,547	△15.1%
営業利益	△105,669	121,008	226,677	—
経常利益	△66,252	125,344	191,597	—
当期純利益	41,962	42,447	484	1.2%

損益計算書のポイント

売上高

前期連結除外した子会社4社の売上高合計 1,202,672千円

営業利益

前期連結除外した子会社4社の営業利益合計 △60,590千円

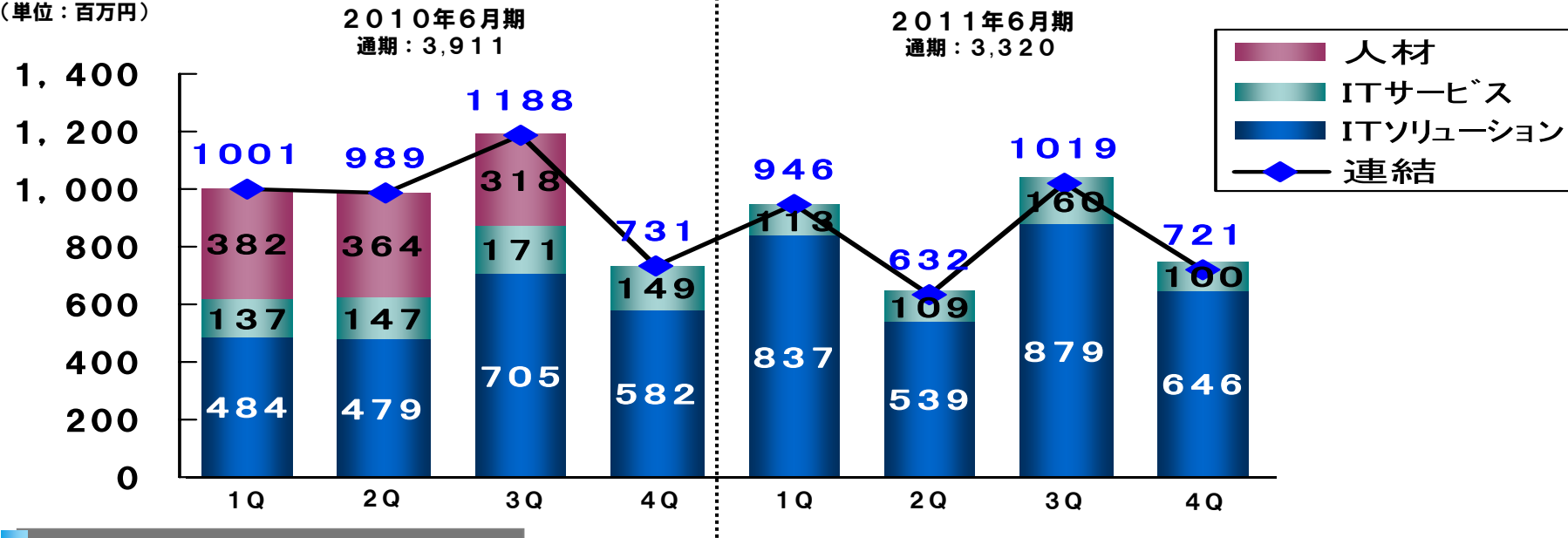
グループ全体での経費適正化推進、震災発生による自宅待機中の固定費の一部20百万円を特別損失へ振替
その結果、販売費及び一般管理費 944,504千円（前年同期比 △432,113千円）となり、営業利益が増加

当期純利益

本社移転費用26,804千円、東日本大震災による損失28,368千円を特別損失に計上
前期は子会社株式売却益134,138千円を特別利益に計上

連結 売上高の推移

(単位：百万円)



連結売上高 通期 3,320百万円

前連結会計年度中における4社(人材:3、ITサービス:1/前年売上合計1,202百万円)の連結除外が影響するも、各事業セグメントともに堅調に推移し、売上減少を抑えました。

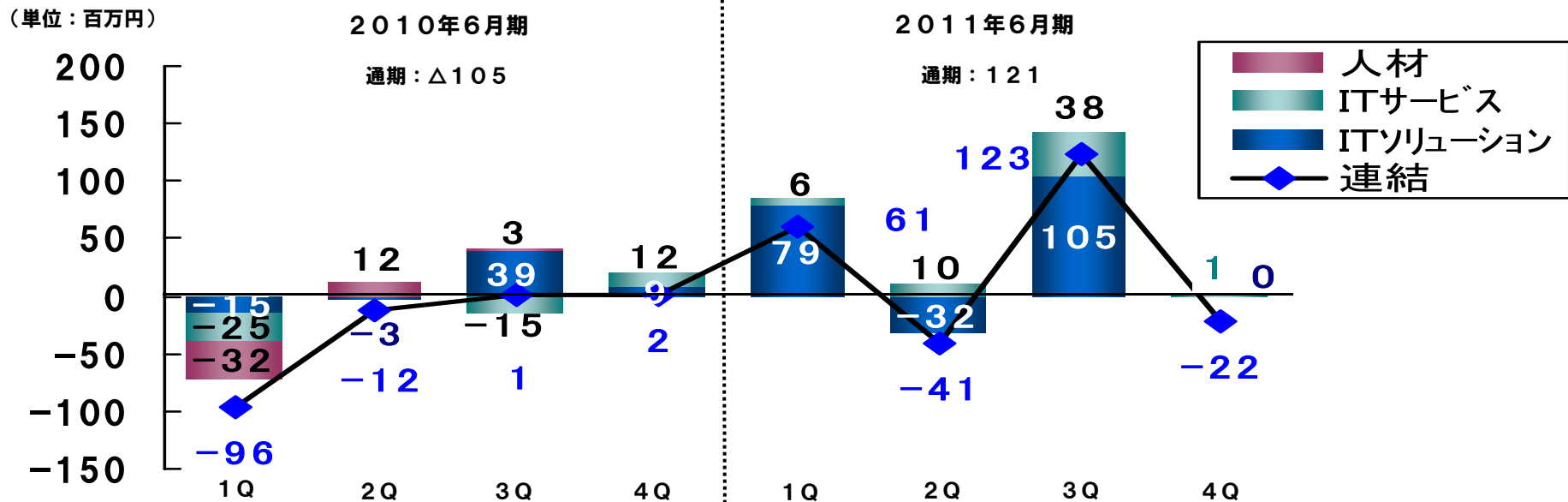
ITソリューション事業 通期 2,902百万円

- ・前連結会計年度に子会社1社を取得したことにより売上増加
- ・1Qにおける、ネットワーク整備事業にかかる大口案件の引き渡し
- ・スマートフォン関連のシステム開発、IT基盤、ネットワーク構築、保守・運用等の事業分野が好調

ITサービス事業 通期 484百万円

- ・情報処理サービス事業が堅調、テストング事業は売上回復の兆しあり

連結 営業利益の推移



連結営業利益 通期 121百万円

赤字状態であった4社(人材:3、ITサービス:1)を前連結会計年度中に連結除外したことに加え、都内に分散していた当社及び連結子会社3社事業所を一か所に集約させるなど、グループ全体で経費削減を推進、また、震災発生による自宅待機中の固定費の一部20百万円を特別損失に振替えたことなどにより営業利益が増加

ITソリューション事業 通期 152百万円

・官公庁のシステム更新等入札案件が堅調

ITサービス事業 通期 56百万円

- ・テスト事業は、事業再構築計画実施による固定費削減効果により、前期比で21百万円の収益改善
- ・情報処理サービス事業は、新規受注の増加により、前期比20百万円増加

連結財政状態

総資産は50百万円増加 現金預金が前年同期比65百万円増加、当期純利益42百万円計上

(単位：百万円)
2010年6月期 総資産 2,301 2011年6月期 総資産 2,351

2010年6月期		2011年6月期	
流動資産 1,621	負債 730	流動資産 1,758	負債 735
固定資産 680	純資産 1,571	固定資産 592	純資産 1,615
	うち少数株主持分 93		うち少数株主持分 92

- ・有形及び無形固定資産取得 42百万円
- ・長期借入金返済 78百万円

有利子負債

(単位：百万円)

2010年6月期	2011年6月期	増減
313	255	△58

(単位：百万円)

	2010年6月期	2011年6月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	168	113	△32.7%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△190	△14	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△467	△58	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,011	1,077	6.46%
フリー・キャッシュ・フロー	△21	98	—
設備投資	3	42	1046.0%
減価償却費	40	26	△34.0%

連結貸借対照表（要約）

（単位：千円）

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	1,174,947	1,217,855	買掛金	56,744	75,539
売掛金	395,731	451,793	長期借入金（1年内）	78,360	※ 91,470
たな卸資産	16,167	42,286	未払金	65,077	84,536
その他	34,154	46,780	未払費用	188,424	208,549
流動資産合計	1,621,001	1,758,715	その他	98,802	88,055
有形固定資産	232,009	223,594	流動負債合計	487,409	548,151
無形固定資産	336,554	286,181	長期借入金	235,220	163,750
投資その他の資産	111,829	83,198	その他	7,620	23,867
固定資産合計	680,392	592,974	固定負債合計	242,840	187,617
			負債合計	730,249	735,768
			純資産の部		
			株主資本合計	1,476,929	1,520,228
			評価・換算差額等合計	220	2,449
			少数株主持分	93,994	93,244
			純資産合計	1,571,144	1,615,921
資産合計	2,301,393	2,351,690	負債純資産合計	2,301,393	2,351,690

※短期借入金20,000千円を含んでおります。

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：千円）

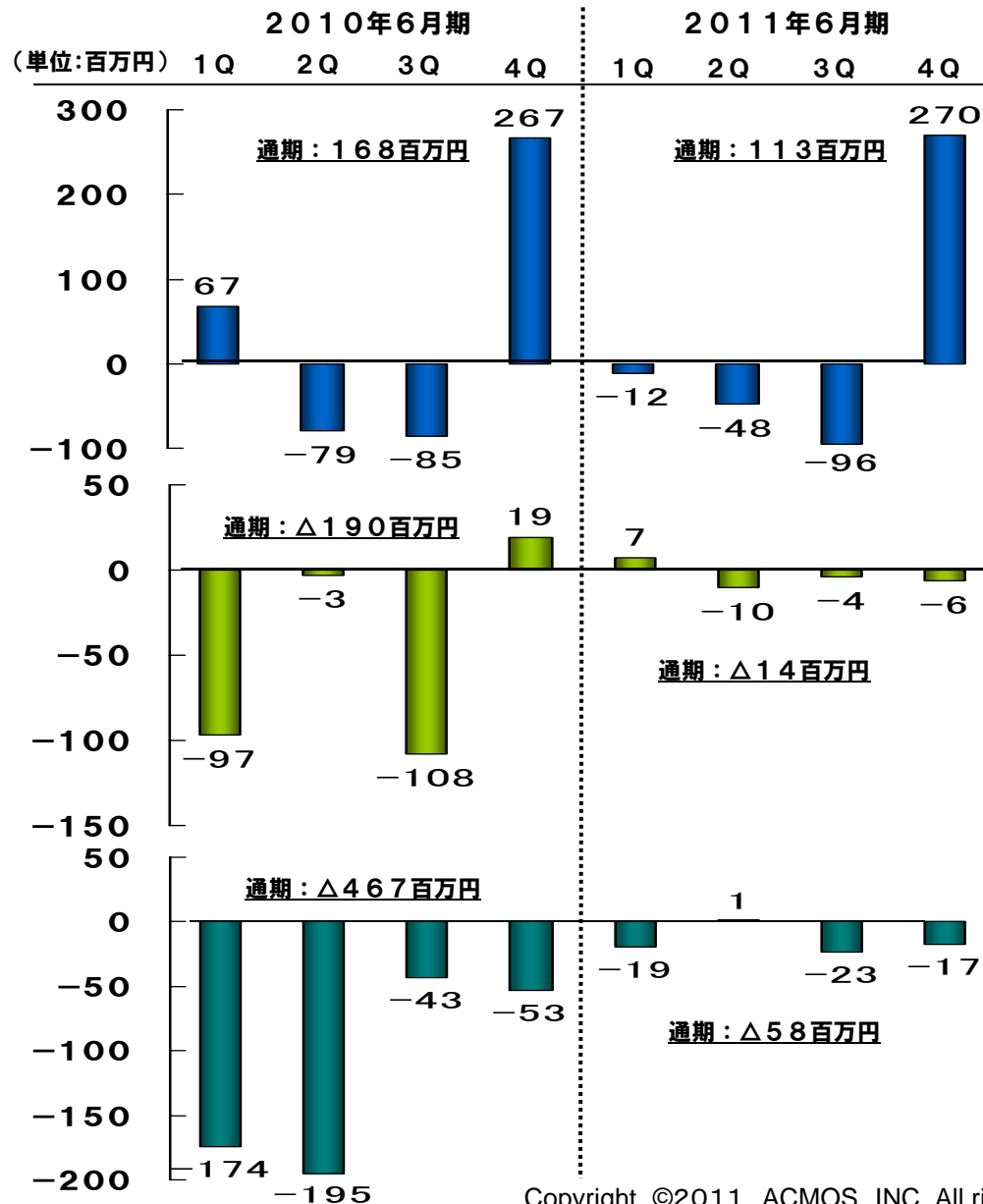
	2010年6月期末	2011年6月期末	増減	
			金額	増減率
営業活動によるキャッシュ・フロー	168,809	113,669	△55,140	△32.7%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△190,331	△14,839	175,492	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△467,398	△58,360	409,038	—
現金及び現金同等物の増減額	△488,920	65,403	※ 554,323	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,011,766	1,077,169	65,403	6.46%

※連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増加額24,933千円を含んでおります。

キャッシュ・フロー計算書のポイント

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前当期63,812千円、のれん償却額55,765千円
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
定期預金の預入と払戻による純収入額22,047千円
有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出42,362千円
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
長期借入金の返済額78,360千円、短期借入金による収入20,000千円

連結 キャッシュ・フローの推移



営業キャッシュ・フロー

ITソリューション事業は3Q末の売上計上が多く、4Qでは売掛金を回収するために、営業キャッシュ・フローが増加する傾向にある。

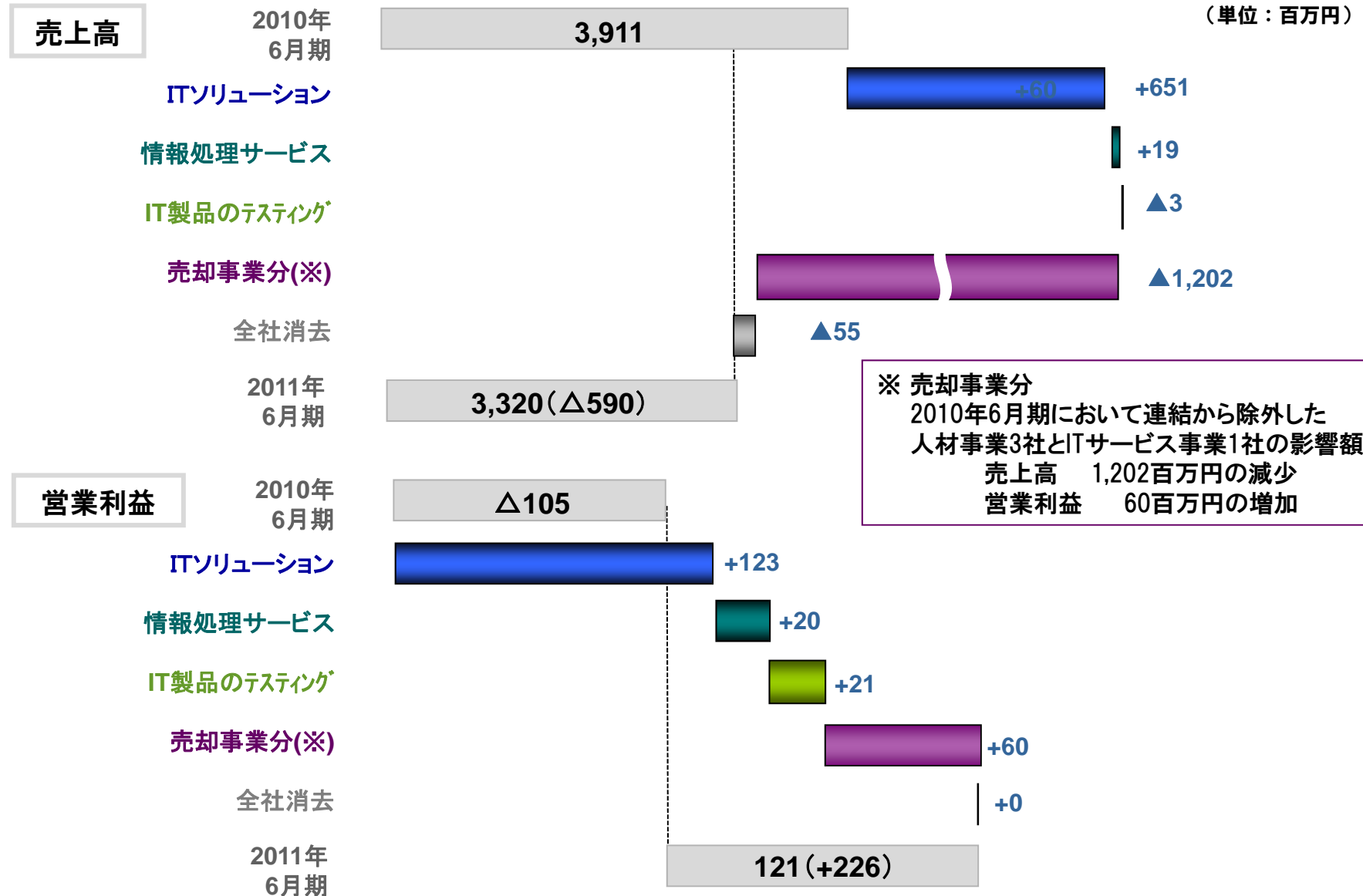
投資キャッシュ・フロー

前期は、子会社売却に伴う貸付及び売却子会社の保有現金が連結除外により減少したことにより、投資キャッシュ・フローが大きくマイナスとなった。

財務キャッシュ・フロー

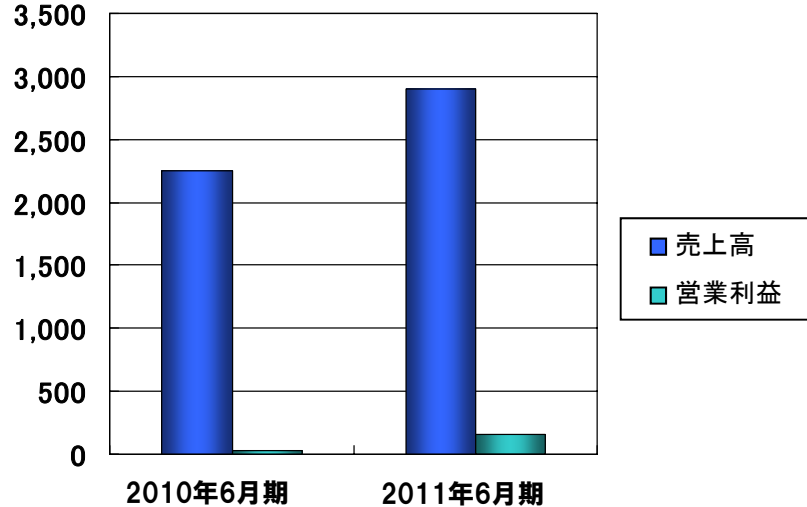
前期は、借入金の返済を進めたことにより、財務キャッシュ・フローが大きくマイナスとなったが、当期は改善した。

連結業績 セグメント別増減



セグメント情報 | ITソリューション事業

(単位:百万円)



事業の概況

ITソリューション

前連結会計年度に医療系システム開発会社を取得したこと、スマートフォン関連のシステム開発、IT基盤、ネットワーク構築、保守・運用等の事業分野が堅調に推移したことにより、売上高が増加しました。ITソリューション事業内にて、業務協力や人材の交流を進め、収益力の向上を図っております。

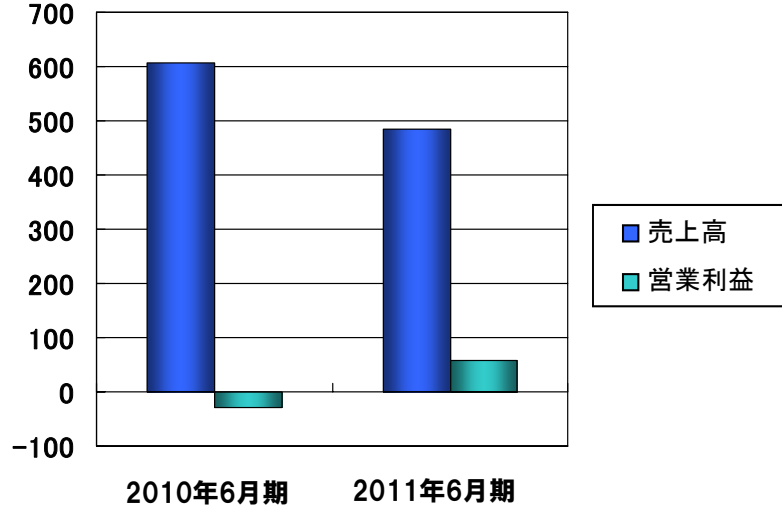
(単位:千円)

	2010年6月期	2011年6月	増減	
	通期	通期		
売上高	2,251,492	2,902,981	651,488	28.9%
外部	2,250,404	2,836,847	586,442	26.1%
内部	1,087	66,133	65,046	—
営業利益	33,157	152,658	119,500	360.4%

※2010年6月期決算より、セグメントの区分を変更しておりますので、2010年6月期の数値については変更後のセグメントに組替えております。

セグメント情報 | ITサービス事業

(単位:百万円)



事業の概況

■ 情報処理サービス

新規取引先開拓と共に、既存顧客の新たなニーズの開拓にも注力しました。
新たな取引案件は、売上規模では小口案件が多いものの、着実にその数を増やしております。

■ IT製品のテストング

前連結会計年度に計画していた事業再構築の施策が一通り完了、賃料の削減分を含めた収益改善効果が現れてきております。

(単位:千円)

	2010年6月期	2011年6月	増減	
	通期	通期		
売上高	606,436	484,770	△121,665	△20.1%
外部	606,086	484,000	△122,085	△20.1%
内部	350	770	420	120.0%
営業利益	△29,160	56,922	86,083	—

※2010年6月期決算より、セグメントの区分を変更しておりますので、2010年6月期の数値については変更後のセグメントに組替えております。
なお、2010年6月期の数値には、前期連結除外したモバイルインターネットコンテンツ事業が含まれております。

第21期 基本方針

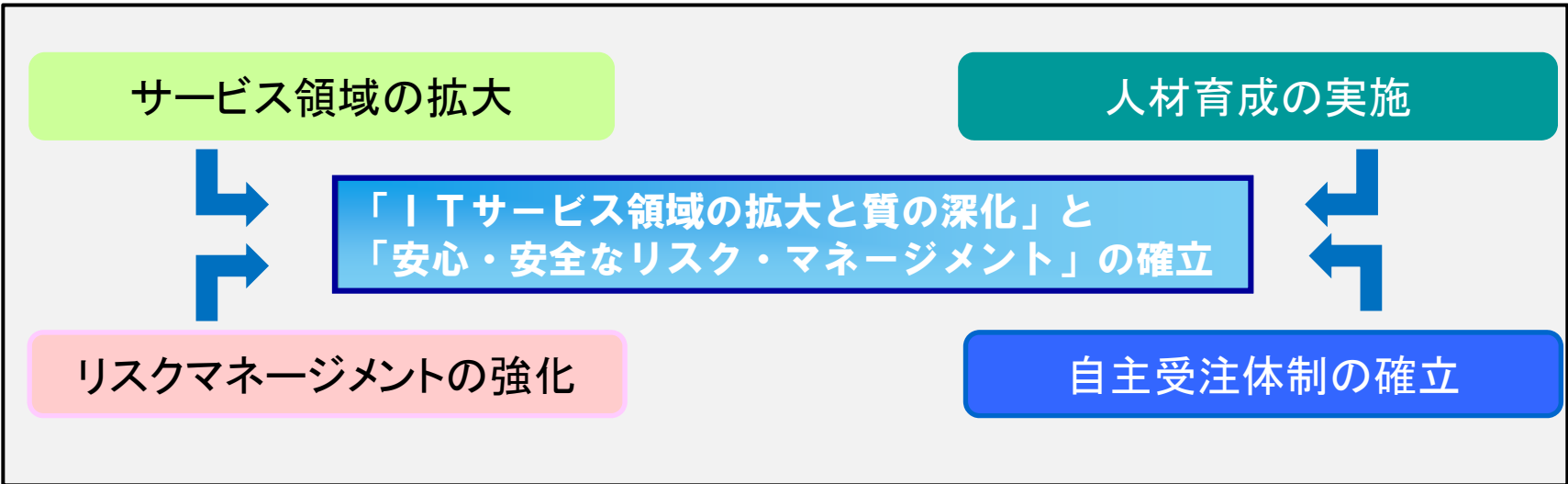
中期経営計画(中計)中間年の第21期は、前期に続き安定収益の確保に注力しつつ、新製品、新サービスの開発を促進し、中計の目標達成を目指す

中期経営計画での達成目標

中堅のITソリューションベンダーとして事業基盤を確立、安定的収益を確保



第21期 アクモスグループ基本方針



第21期 業績予想

ITソリューション、ITサービス両セグメントで需要増の見込み
電力系システム開発分野の震災の影響からの本格的な回復は、2012年以降

連結	2011年6月期 実績	2012年6月期 予想			
	通期	第2四半期累計		通期	
(単位：百万円 1株当たり情報を除く)					
売上高	3,320	1,680	6.4%	3,400	2.4%
営業利益	121	40	95.8%	100	△17.4%
経常利益	125	45	86.3%	100	△20.2%
当期純利益	42	25	—	80	88.5%
1株当たり当期純利益(円)	437.63	257.75	—	824.78	—

※ %表示は、通期は対前期、第2四半期累計は対前年同四半期増減率。2012年6月期の予想には新規M&Aに等による影響は見込んでおりません。

単体	2011年6月期 実績	2012年6月期 予想			
	通期	第2四半期累計		通期	
(単位：百万円 1株当たり情報を除く)					
売上高	2,672	1,375	8.3%	2,750	2.9%
経常利益	135	62	26.2%	125	△7.8%
当期純利益	70	45	143.9%	100	41.4%
1株当たり当期純利益(円)	728.90	463.94	—	1,030.98	—

配当政策・自己株式

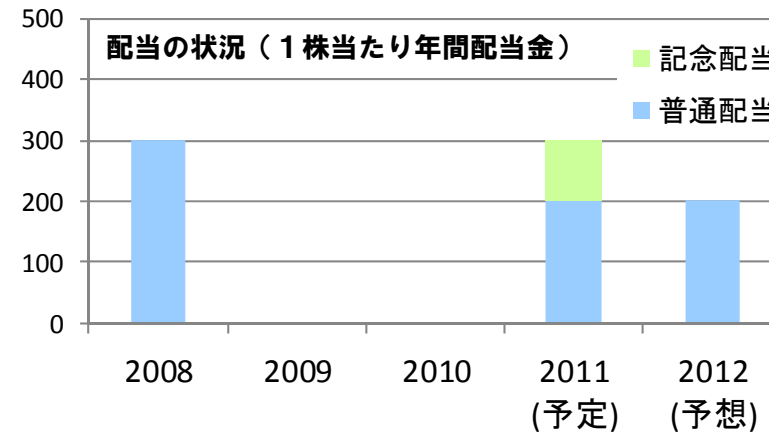
安定的な期末配当の実現を目指す。第21期の期末配当予想は1株当たり200円

配当政策

当社は、株主の皆様に対する安定的な配当の実現を、中長期的な重点課題として位置づけております。

【利益配分に関する基本方針】

- ・配当資源確保のための収益力向上を図る
- ・財政基盤の強化に努める
- ・単体当期純利益に対する配当性向30%を目標に連結業績を勘案し配当を行う



自社株取得状況

自己株式の取得の実施及び計画はありません。

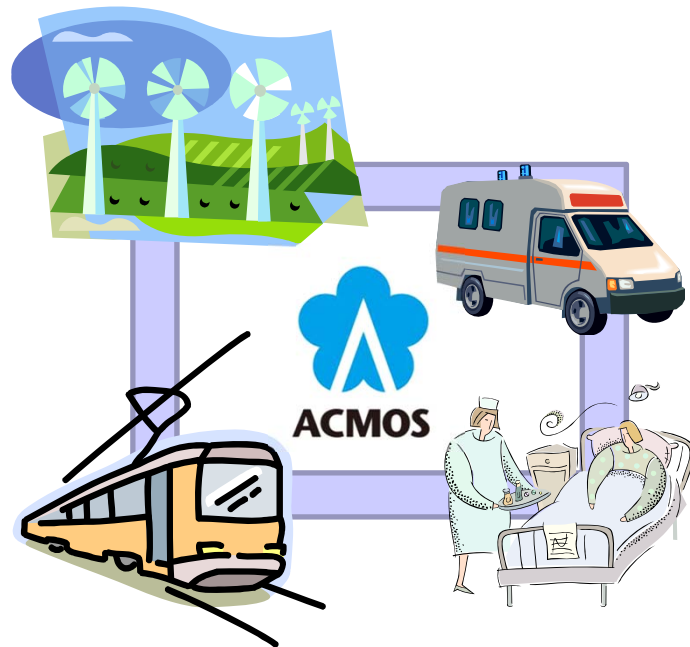
今後の自己株式の取得については、株価の状況を勘案し実施を検討いたします。

対処すべき課題

いつも、どんなときも安心・安全なITソリューション&ITサービスをお客様に提供
社員・家族が安心して業務に従事できる環境を整備

主な対処すべき課題

アクモスグループは、
社会インフラ・ライフラインの
IT基盤をサポートします



- ▶ **リスクマネジメントに関する課題**
 - 社会インフラや行政サービスを支えるIT企業グループとして、いつもどんなときも、お客様に安心してお使いいただける安全なサービスの提供に努めます。
 - 社員その家族が安心して業務に従事できる環境の整備をより一層進めて参ります。

- ▶ **研究開発型プロジェクトの推進・自主受注の拡大**
 - 新製品、新サービスの展開を目的に研究開発型プロジェクトを推進します。
 - エンドユーザーからの受注拡大のため、品質向上を図ります。

- ▶ **人材育成・東北からの採用活動推進**
 - 人材育成と人材活用を支援する人事マネジメントシステムの導入と評価制度の刷新に取り組みます。
 - 被災地域に事業拠点が近接する企業として、東北地区からの新卒、経験者採用を推進します。

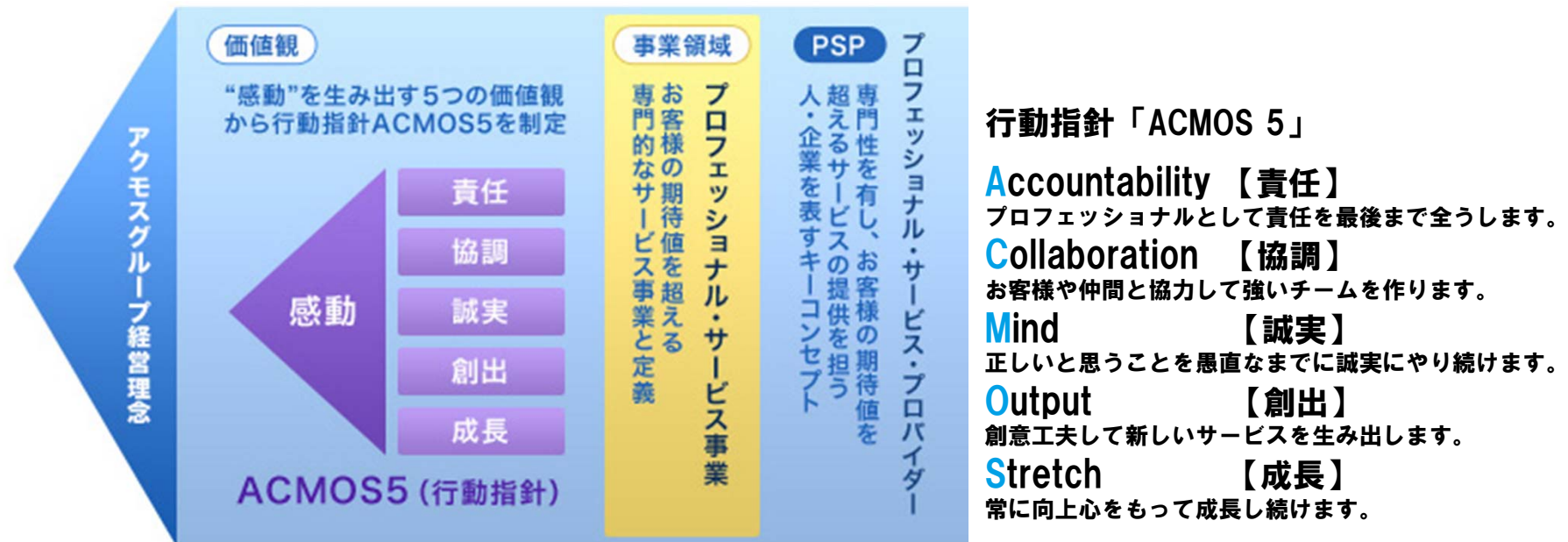
<参考資料>

企業理念・経営理念

当社は、プロフェッショナルサービス事業(お客様の期待値を超える専門的なサービス事業)を事業領域とする当社グループのソリューションの提供を通じ、持続的に成長してまいります。

企業理念

アクモスグループの持続的成長を実現し、事業活動を通じて社会に貢献するために、アクモスグループの一人ひとりが共有すべき方針と価値観を定めています。

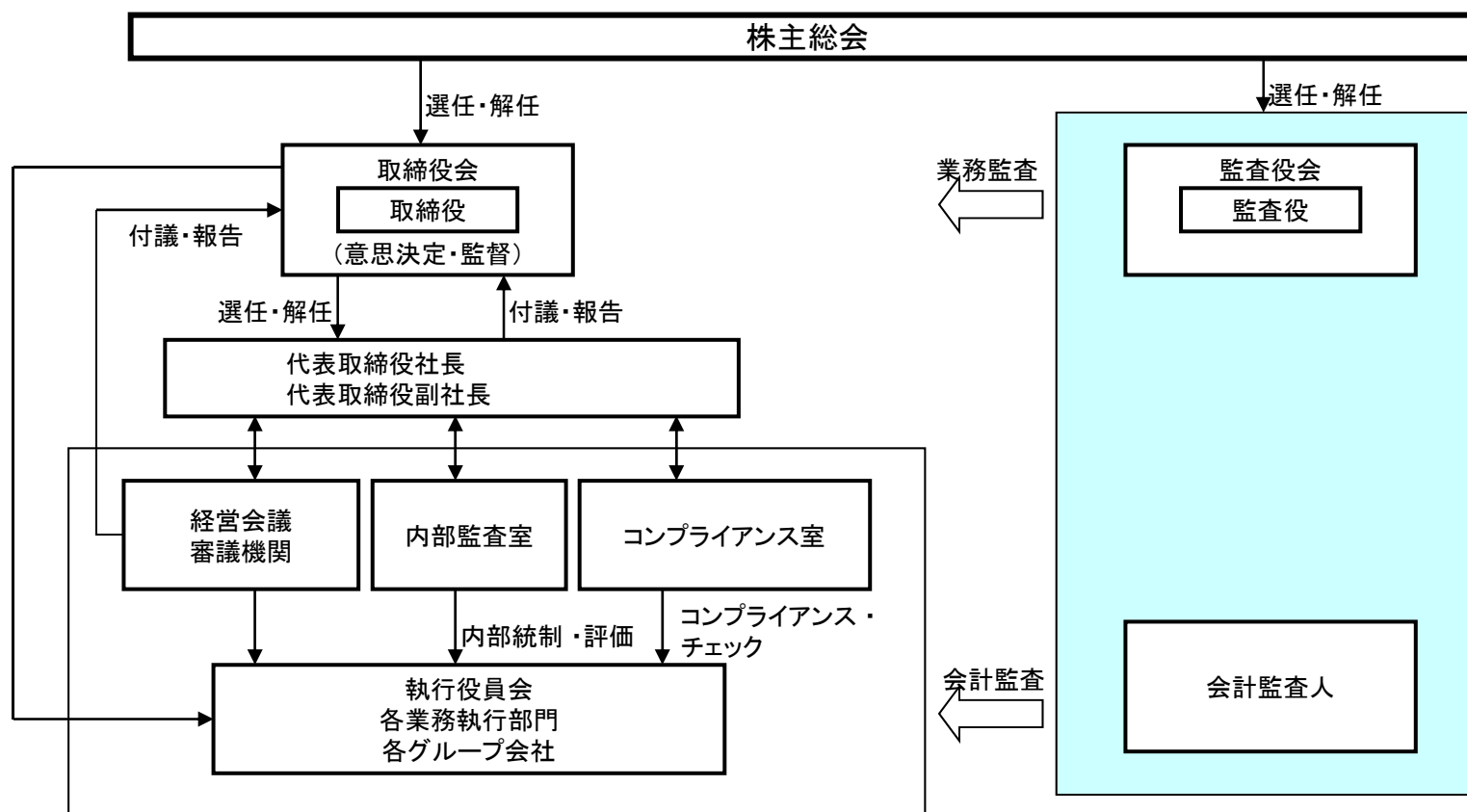


アクモスグループ経営理念

「私たちアクモスグループは、お客様に感動していただけるプロフェッショナルなサービスを提供いたします。」

コーポレート・ガバナンスの状況

当社は、持続的成長を実現し、事業活動を通じて社会に貢献するために、企業理念において、当社グループの一人ひとりが共有すべき方針と価値観を定め、効率的かつコンプライアンスを重視した健全な企業経営を推進するために企業組織を分権化し、分権化された各組織の独自性や多様性を認めつつ、公正で透明性の高いコンプライアンスを重視したコーポレートガバナンス体制を整備、運用しております。



(Info.) アクモスグループ事業

	ITソリューション		ITサービス	
ソリューション & サービス	ACMOS	ACMOS ソーシングサービス	G's staff	XXCAL
			情報処理サービス	検証サービス
コンサルティング				品質向上 コンサルティング
SI ソフトウェア開発	公共系システム 産業系システム 制御システム 情報システム エンベデッドシステム	産業系システム 製造系システム 医療系システム		
IT基盤 ネットワーク構築				
保守・運用サービス	24時間・365日体制			
検証サービス				規格認証 第三者検証 ユーザビリティ評価
情報処理サービス			アンケート集計解析 (WEB/マークシート/紙) 試験採点集計・データ入力	
BPO			各種イベント事務支援	

(Info.) アクモスグループ一覽

アクモス株式会社

設立 1991年8月 資本金 6億9,325万円
売上高 2,672百万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8号 野村不動産神田小川町ビル4階
TEL:03-5217-3121 FAX:03-5217-3122
<http://www.acmos.co.jp>



お問合せ先 hp_biz@acmos.co.jp

主要取引先 株式会社日立製作所、株式会社日立情報制御ソリューションズ、富士通株式会社、株式会社常陽銀行、株式会社日立ビルシステム、日立電線株式会社、日立建機ビジネスフロンティア株式会社、アルパイン株式会社、KDDI株式会社、官公庁他

ACMOSソーシングサービス株式会社 (2010年7月商号変更 旧社名 日本メカトロニクス株式会社)

設立 1981年3月 資本金 1,300万円
売上高 247百万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番8号 野村不動産神田小川町ビル4階
TEL:03-5217-3332 FAX:03-5217-3334
<http://www.acmos-ss.jp>



お問合せ先 info@acmos-ss.jp

主要取引先 日本電気株式会社、NECソフト株式会社、東京医科大学病院、埼玉病院他

株式会社ジイズスタッフ

設立 1997年3月 資本金 5,000万円
売上高 255百万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番8号 野村不動産神田小川町ビル3階
TEL:03-5217-3131 FAX:03-5217-3134
<http://www.gstf.jp/>



お問合せ先 inquiry@gstf.jp

主要取引先 官公庁(法務省)、大学(京都大学)、民間企業(三菱商事株式会社)、労働組合他

株式会社エクスカル

設立 1998年3月 資本金 2,600万円
売上高 224百万円※
所在地 〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134番地
横浜ビジネスパークイーストタワー14階
TEL:045-332-7333 FAX:045-332-7444
<http://www.xxcal.co.jp/>



お問合せ先 kksales@xxcal.co.jp

主要取引先 パナソニック株式会社、株式会社東芝、ソニー株式会社、NTTドコモ株式会社、アマノ株式会社、キヤノン株式会社他

単体損益計算書（要約）

（単位：千円）

	2010年6月期	2011年6月期	増減	
	通期	通期		
売上高	2,239,095	2,672,021	432,925	19.3%
営業利益	44,563	131,545	86,982	195.2%
経常利益	72,388	135,558	63,169	87.3%
当期純利益	23,001	70,700	47,698	207.4%

損益計算書のポイント

■売上高

第1四半期に完了したソリューション事業部のネットワーク整備事業関連売上の寄与、スマートフォン関連のシステム開発、IT基盤、ネットワーク構築、保守・運用等の事業分野が堅調に推移

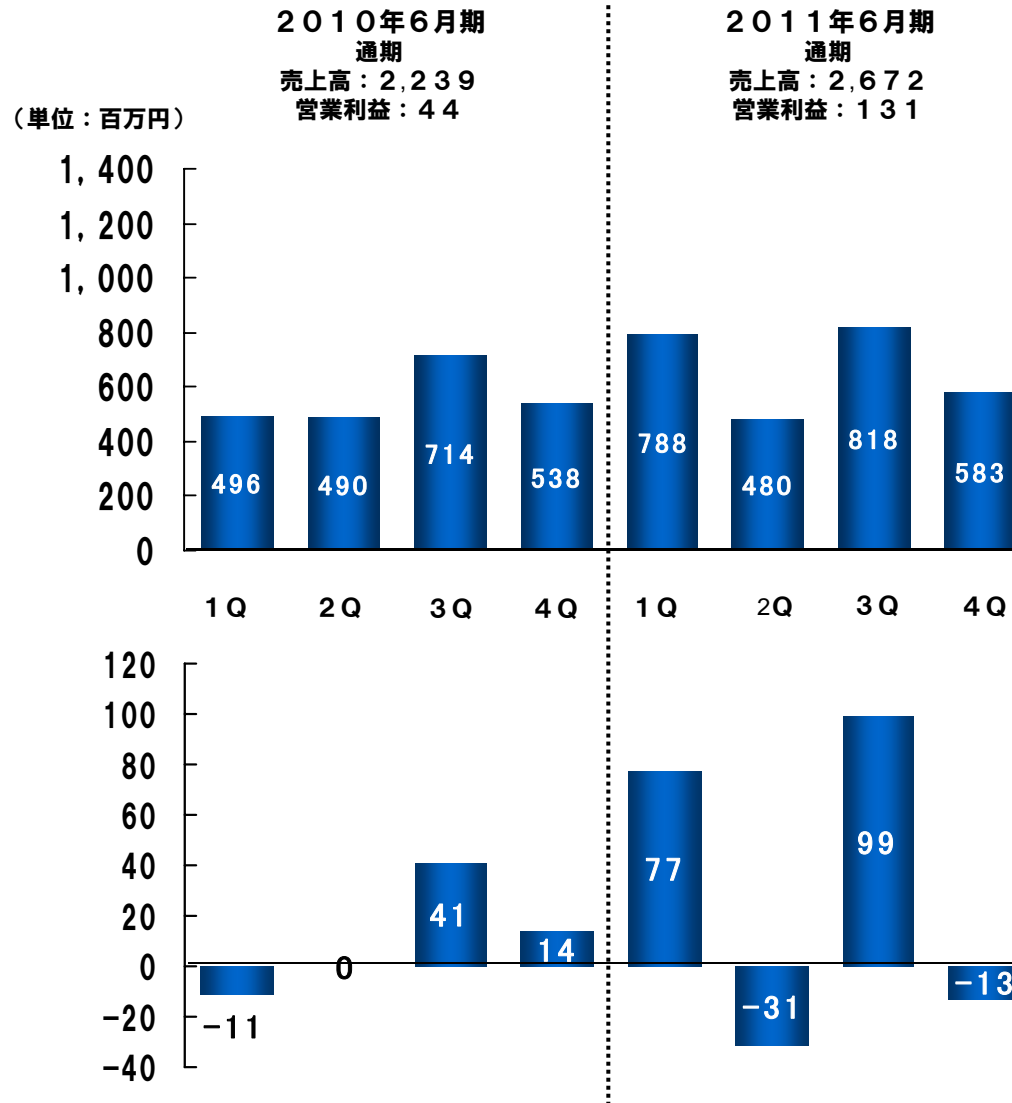
■営業利益

固定費削減を推進、震災による自宅待機中の固定費の一部を特別損失に振替

■当期純利益

本社移転費用として10,922千円、災害関連損失を27,411千円計上
前期は、子会社売却益75,000千円を計上

単体 売上高・営業利益の推移



売上高

第1四半期に完了したソリューション事業部のネットワーク整備事業関連の売上による寄与、スマートフォン関連のシステム開発、IT基盤、ネットワーク構築、保守・運用等の事業分野の堅調な推移により、通期では前年同期比で19.3%の増加となっています。

営業利益

売上が堅調であることや、前期より続く固定費の削減効果、第3四半期において、震災の発生によって自宅待機中の固定費の一部を特別損失に振替えたことなどにより、通期では前年同期比で86百万円の増加となりました。

単体貸借対照表（要約）

（単位：千円）

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	910,904	879,945	買掛金	45,074	73,601
売掛金	288,464	375,162	長期借入金（1年内）	78,360	71,470
たな卸資産	11,110	33,606	未払金	39,385	51,976
その他	42,739	52,470	未払費用	168,311	184,114
流動資産合計	1,253,218	1,341,184	賞与引当金	18,302	16,100
有形固定資産	188,035	192,940	その他	48,848	77,522
無形固定資産	3,819	12,284	流動負債合計	398,281	474,784
投資その他の資産	436,558	429,983	長期借入金	235,220	163,750
固定資産合計	628,412	635,208	その他	—	16,800
			固定負債合計	235,220	180,550
			負債合計	633,501	655,334
			純資産の部		
			株主資本合計 ※	1,247,909	1,318,609
			評価・換算差額等合計	220	2,449
			純資産合計	1,248,130	1,321,058
資産合計	1,881,631	1,976,393	負債純資産合計	1,881,631	1,976,393

※前期、当期ともに、自己株式△53,911千円を含んでおります。

■本資料について■

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。今後、当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、需給関係等の変化にともない、業績見通しが変更される可能性があります。

また、本資料は、当社の株式購入など投資を勧誘する目的で作成されたものではありません。

なお、本資料の将来の見通しに関する記述に関しましては、法令上その手続きが必要となる場合を除き、事前の予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

アクモス株式会社

経営情報管理部 IR・コーポレート室 TEL:03-5217-3123